

エコ学区でできること

「エコ学区」は、地域でスムーズにエコ活動ができるように、様々なプログラムを無料で利用することができます。

地球温暖化や省エネをテーマにした学習会

地球温暖化等の環境問題や家で簡単にできる省エネなど、様々なテーマの学習会を開催できます。また、学区の希望に沿った任意のテーマでの学習会の開催が可能です。



省エネ診断で光熱費を平均約2万円節約

家庭の省エネ診断である「うちエコ診断」を受診できます。「うちエコ診断士」が、家庭のエネルギー使用状況を分析し、各家庭に合わせたオーダーメイドの提案を行います。受診者へのアンケートによると、光熱費を年間平均約2万円節約されています。

学区イベントへの環境啓発ブースの出展

夏祭りなどの学区のイベントに環境啓発ブースを出展して、参加者の環境に対する意識を高めることができます。子ども向けや工作等、学区の希望に沿ったテーマのブースを出展できます。



上記以外にも様々な支援がありますので、詳しくは、エコ学区サポートセンターまでお問い合わせください。

エコ学区サポートセンター

エコ活動に関する相談に対応し、地域のエコな取組の提案や助言等を行っています！

所在地 〒612-0031 京都市伏見区深草池ノ内町13 京エコロジーセンター

- 地下鉄・近鉄
「竹田駅」下車東へ徒歩約12分
- 京阪電車
「藤森駅」下車西へ徒歩約5分
- 市バス 105・南5・西園5・南9
「南少年科学センター前」下車南へ約100m
- 名神高速道路
「深草」(スリッパ)下車すぐ



発行 京都市環境政策局地球温暖化対策室 【電話】075-222-4555 【FAX】075-211-9286

制作 エコ学区サポートセンター (公益財団法人京都市環境保全活動推進協会) 【電話】075-641-3686 平日10～18時(土・日・祝日除く)

毎月16日は「DO YOU KYOTO? デー」(環境に良いことをする日)です。

公共交通の利用、節電、ごみの減量等、環境にやさしい取組を実施しましょう。

この印刷物が不要になれば「雑み」として古紙回収等へ

この事業は家庭ごみの有料指定袋の収入を活用しています。



平成 29 年 3 月発行 京都市印刷物 285165 号

エコ学区かいらんばん 第8号

京都市では、環境にやさしいライフスタイルへの転換や省エネなど、地域ぐるみで主体的なエコ活動を推進する「エコ学区」を支援しており、現在、市内の全 222 学区がエコ学区として活動しています。

エコ活動の輪が、今後更に広がるよう、学区の様々な取組をご紹介します。



京都環境賞エコ学区部門について

京都環境賞は、環境に関する市民の皆様の関心を高め、様々な実践活動の更なる推進を図ることを目的として、地球温暖化の防止や循環型社会の形成をはじめとした環境の保全に貢献する活動を実践されている市民や事業者の皆様を顕彰する制度です。平成29年2月6日に開催された平成28年度(第14回)京都環境賞の表彰式では、エコ学区部門において、先進性や発展性のあるエコ活動を展開している13学区が表彰されましたので、中面をご紹介します。



京都環境賞では、エコ学区部門のほかに、京都環境賞(大賞)、5つの特別賞及び奨励賞を設けています。

エコ学区におじゃましました!

元町学区(北区)

「元町節電所」稼働中! ～CO₂削減・ストップ温暖化～

節電は小型発電所をつくるのと同じ価値があるという考えのもと、節電に取り組んでいます。夏・冬の季節に合わせた節電について学習会を実施し、活動拠点である自治会館の照明を全てLEDに取り換えました。また、京都市の事業として小学校で実施している「こどもエコライフチャレンジ」と連携することで、大人も子どもも楽しく節電の取組を進めています。



たくさんの親子が参加した節電の学習会



「省エネナビ」を取り付けることで、いつでも電気使用量を確認することができます。省エネに取り組む意識を高めることができました。



朱雀第四学区(中京区)

学区ぐるみで「グリーンUP」プロジェクト ～朱四の種子から坪庭へ～

朱雀第四小学校の「いのちの庭」を中心に、小学生と学区住民、PTAが一体となって学区内に緑を広めています。小学校の授業と連携することで、小学生を含めた様々な世代の人が、協力してプランターへの植付けや花壇づくりを行い、緑化の重要性について学びました。今後も、小学校や地域が一体となって、緑を増やしていきます。



子どもと大人のプランターへの植付け



プロジェクトでは、生物多様性、景観保全の重要性、都市緑化、雨水の活用等、都市空間での理想モデルについての学習会を行いました。

南太秦学区(右京区)

「節湯・創湯」プロジェクト ～みんなでやるで地域ぐるみでエコ活動!!～

節水シャワーヘッドへの切替、太陽熱温水器やロケットストーブによる創エネ体験、更には省エネ診断会の実施等を通して、地域にエコ活動を広げました。また、省エネによる電気・ガスの削減量に応じた報奨金を受け取れるDO YOU KYOTO? クレジット制度を活用して、小学校に新しい物品を設置することを目標に、地域で省エネに取り組んでいます。



木質バイオマス熱を活用した足湯体験



DO YOU KYOTO? クレジット制度とは、概ね 10 世帯以上のグループで、省エネに取り組むことで、その成果に応じた額の報奨金(CO₂削減量に換算して、1トン当たり 1万円)を交付する京都市の制度です。

桃山学区(伏見区)

地域・小学校・児童館の連携拡大

桃山工コ推進委員会の人たちが、緑のカーテンやロケットストーブ製作等のエコ活動を展開し、取組内容を交えた環境教育を小学校で実施しました。子どもたちも、環境学習の成果を発表し、地域内で相互にエコを学び合いました。



小学生が普段地域で見かける大人たちから環境についての授業を受けています。

植柳学区(下京区)

エコクッキングで 生ごみ削減

元植柳小学校の調理室で、女性会によるエコクッキングを行いました。ごみを出さないことを心掛けるとともに、出てしまった野菜くず等は堆肥化し、花の栽培に利用することで、ごみゼロを目指しました。



野菜くずをプランターの中に入れて乾燥させた土と混ぜ合わせ堆肥化することを学びました。

エコ学区特別推進賞

地産地消の取組と公共交通利用の促進

久我学区（伏見区）

自治連合会等が学区内の小学校と連携して、農家に配った堆肥からできた久我菜を、春はおひたしにして地域児童に食べさせたり、種から油をとる「たねもみ」作業を行うなど、地産地消の取組を実践しています。

また、モビリティ・マネジメント（一人一人の移動が望ましい方向に変化することを促す取組）として、公共交通の利用の促進にも取り組んでいます。学区住民の働きかけにより、バス停を安全で利用しやすいたすほか、パンフレットの配布によるバス利用の促進や生の声を聴くことによるバス増便の調整・告知をしてきました。こうした取組を通して、高齢者の居場所作りと外に出掛けやすい環境を整えることを目指しています。



バスが利用できることで、地域の企画に参加できる人もいます。

地域の要望で屋根と椅子が設置され、安全で利用しやすくなったバス停。



【会長談】「住みよい久我。住んで良かった久我」を目指しており、そのためには住民の居場所づくりと、「たより」をこまめに発行していくことで、住民との連携を絶やさないことが大事と考えています。

エコ学区推進賞

公共交通の利用

柊野学区（北区）

モビリティ・マネジメントの推進

地元からの働きかけにより、新たに市バスが運行されるようになりました。その後も、利用者を増やすためニュースレターを全家庭に配るほか、大学と連携したPR活動を行いました。今後は、人が集まり移動が容易なまちづくりのための本数増と路線の延伸を目指します。



10年かけて運行が実現した「特37系統」を活用して、より住みやすい地域を目指します。



きれいな街並みを走る「特西4系統」利用促進に力をいれています。

福西学区（西京区）

学区内の清掃とモビリティ・マネジメント

街路樹が多く、大量の落ち葉処理が必要であるため、自治会や商店会、学校でもこまめに清掃を行っています。また、モビリティ・マネジメントにも力を入れており、地域メディアの利用やポケット時刻表の配布等により、学区内を走るバス利用を啓発しています。

ごみの減量

滋野学区（上京区）

リユース食器を利用したごみの減量

イベントへの参加者数が多いため、ごみの量も増えていましたが、地域環境のことを考え、リユース食器利用等の工夫でごみの量を半分に減らしました。各種団体が協力して、環境にやさしく、安心安全に誇りを育てるまちづくりに取り組んでいます。



学区内の各種団体が協力して、清掃活動を実施しています。



「ごみ調査隊」には、子どもを中心に様々な人が関わっています。

銅駝学区（中京区）

ごみ調査とまちの美化活動

「ごみ調査隊」を結成し、NPO法人と連携して、清掃活動を行いながら、ごみの収集記録や分類調査をすることで、環境意識の向上に取り組んでいます。将来的には清掃した河川にホテルに戻ってくることを目指しています。

唐橋学区（南区）

コミュニティ回収等の推進

地域が一体となって雑がみや資源物のコミュニティ回収を行うとともに、ごみ減量の学習会を実施しています。各種団体の連携により、情報が共有され、きれいで安全なまちづくりを継続し、住みやすく、障害のある方も活動しやすいまちを目指しています。



「エコスタッフ」の活動により、ごみの減量を推進しています。

西院第二学区（右京区）

中学校と連携したエコ活動

学区のふれあいまつりで、中学生と地域メンバーが一緒になった「エコスタッフ」が、リユース食器の利用や分別回収を推進しています。「ありがとう」、「ご苦労様」など、声を掛け合うことで、エコ活動を広げ、絆のある学区を目指しています。

省エネ・節電

月輪学区（東山区）

イベントにおける環境啓発活動

住民の環境意識を高めるため、学区のイベントでリユース工作を行う学習会や省エネ診断会を実施したほか、薪ストーブの実演などの啓発活動を行いました。また、フジバカマの栽培による緑化や自然とのふれあいを通して地域の活性化を図っています。



月輪ガーデンは児童らが自然にふれ合い、学習できる場所です。



ゲーム形式の学習会で、「エコと防災」について話し合いました。

淳風学区（下京区）

「エコと防災」をテーマとした活動の実施

学習会で学んだ「エコに防災の要素を取り入れた活動」に取り組み、普段から停電を想定した電気製品の対応や冷暖房の負担の少ない生活等の工夫をしています。災害時にあわてることのないよう積極的に準備と訓練を行っています。



学習会を行い、参加者同士で節電の方法について話し合いました。

藤森学区（伏見区）

イベント等でのエコ活動

イベントにおけるリユース食器の利用や分別の徹底により、ごみの減量を推進しています。また、照明のLED化や児童の登下校の見守り隊によるポイ捨て注意など、常に環境を意識した取組により、住みよい地域を目指しています。



自治会館に集まり、窓に断熱シートを貼り付けています。

醍醐学区（伏見区）

自治会館の窓の断熱化

自治会館の窓に断熱シートを貼ることで省エネや環境学習の実施、河川周辺の美化活動などに取り組んでいます。今後は「ふるさと醍醐」をキャッチフレーズにエコ活動を組織化し、エコ活動についての広報誌発行やアイデアの具体化を考えています。

緑化・落ち葉の堆肥化

静原学区（左京区）

堆肥化と不法投棄物の撤去

学区内の枯れ葉や剪定枝を用いて堆肥化する取組を促進しています。また、学区内を流れる川においては、行政に頼るのではなく、学区でできることを考え、毎月1回、不法投棄の撤去を行っています。



学区内の様々な場所に、堆肥化を行うコンポストを置いています。



駅前の緑化により放置自転車が少ない、景観もよくなりました。

桂東学区（西京区）

花いっぱい運動による駅前緑化

京都議定書が誕生した平成9年からエコ活動を実施しており、特に花いっぱい運動による駅前の緑化に積極的です。「まちをきれいにすることが、世界一安全安心なまちにすることに直結する活動である」という考えのもとに取り組んでいます。